

①フィールドビンゴ！

今年度初めての活動という事で“自然に興味をもつ”をテーマに活動しました。フィールドビンゴは、『チクチクした物』、『キノコ』、『クモの巣』など、マス目に書かれたお題に当てはまる自然を探すゲームです。そして、発見したらみんなに紹介し、クリアのシールを貼ります。同じ自然物でも少しの意識があるだけで発見した時の喜びは倍増するようでした。発見した自然を得意気に紹介する姿も素敵でした！



②虫めがね大流行！

“小さな自然をじっくり見てみよう”と虫めがねを使い、周りの自然を観察しました。最初は「とにかく虫めがねを持ちたい！」といった様子でしたが、時間が経つとアリや岩の隙間の花、木の皮や石の模様など面白い所に目を付け観察する事ができました。また、虫めがねの数が限られているので一緒にレンズを覗いたり、「貸して！」、「いいよ！」と声を掛け合ったり、自然や道具を通して関わり合う姿が見られました。



③遊具に挑戦！

午後からは近くの『子供の樂園』へ歩いて行きました。園内には様々な遊具があり、みんなは大興奮でした！中には私達大人から見ると「少し難しいかな？」という遊具もありましたが、前もって制限はかけず「やってみたい！」という気持ちを優先しました。上手くできたり、できなかつたりを繰り返しながら自分が楽しいと感じるお気に入りの遊具を見つけていきました。



④みんなと一緒に！

自然探しを楽しむ中で、一人一人が自分のペースだけで進み、みんなが進む事が難しい場面もありました。休憩したい気持ちと早く進みたい気持ち、どちらの気持ちもよく分かります。だからこそ自分の気持ちを言うだけでなく、相手の気持ちを聞くという機会を少しずつ増やしていければと思います。意外と相手のやりたい事を一緒にやる中で、新しい楽しみが生まれたりもします。

今月は初めて顔を合わせるメンバーが多く、最初はそれぞれで楽しむ姿がありました。そんなメンバー達の関わりが目に見えて増えたのは、虫めがねで自然観察を始めた時でした。虫めがねを使う為には、「貸して！」や「見せて！」と声を掛け、「いいよ！」や「ここにアリがいるんだよ！」という反応が返ってきます。一言二言のやりとりですが、そのやりとりが一気に距離を縮めているように感じました。また、歩くときに手を繋ぐという事も意思疎通の一つだと思います。一緒に進む為にはお互いが相手のペースに合わせないといけません。これからも友達とのこのようなやりとりを一つ一つ積み重ねていきたいです。
(生本 ひろみ)